

# エコファーマ海外研修プログラム 参加者募集の案内（ラオス）改訂版

本研修の目的は、発展途上国における環境保健衛生の現状を現地視察し、環境問題と薬学との関連や日本との関わり、日本国内の制度等に対する認識を新たにすると共に、薬学の視点から日本の国際協力の在り方、薬学人の役割と貢献について積極的な提案を行えるようになることです。今回の研修は、坂井弘臣 元ラオス大使のご尽力により、保健省や総合病院、医療系大学を視察し政府高官や指導的立場にある医師と交流を深めることができるほか、薬草園、市場、農村家庭の訪問や現地学生との交流会なども予定され、他にはまねができないすばらしいプログラムになっています。多くの皆さんの参加をお待ちします。

## 【研修日程】

8/30

福岡発・タイ国着。  
バンコク市内チャットチャック市場（ハーブと薬草）の  
販売状況を視察。（バンコク泊）

8/30～9/3

ラオス入国。  
ラオス保健省訪問（保健大臣又は保健省関係局長表敬訪問）  
国立マホソット病院訪問（院内視察・説明）  
ヴィエンチャン都保健局インラワン保健局長表敬訪問  
ラオス保健科学大学（医学・薬学）訪問  
トンカンカム市場（生鮮食品）タラサオ（繊維雑貨の朝市）ハーブと薬草の販売状況視察。  
国立製薬会社・工場<sup>※1</sup>視察。ヴィエンチャン市チナイモ浄水場<sup>※2</sup>を見学。  
サヤブリへ移動し、サヤブリ県中央病院（院内薬草センター）視察

9/4

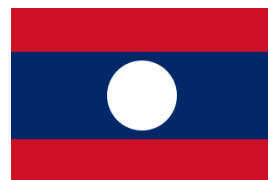
ルアンパバーンへ移動し、ルアンパバーン県中央病院視察

9/5

ルアンパバーン市内露天市場（ハーブ・薬草等）見学後、ヴィエンチャンへ移動。  
ラオス国立大学ドンドク・キャンパス、学生寮<sup>※3</sup>視察。  
ヴィエンチャン高校にて歓迎夕食会<sup>※4</sup>。  
ラオス出国。

9/6

バンコク経由で帰国。



視察先や内容については、変更になる場合もあります。

※3 熊本ラオス友好協会で建設された施設。

※1、※2 日本国政府無償資金援助で建設された施設。

※4 友好協会支援学生による手料理。

研修期間： 8月30日（日）  
～ 9月6日（日）

募集期間： 6月29日（月）  
～ 7月14日（火）

募集人数： 12名程度

参加者決定： 7月21日（火）

参加費： 約13万円

熊本～福岡往復高速バス代  
ラオス国内移動費込

申し込み先： 薬学系教務企画係

問い合わせ先： 環境分子保健学 白崎 哲哉  
薬学系教務企画担当 荒田 良則